

第23期（2008年3月期）
決算補足説明資料

2008年4月30日

サイバネットシステム株式会社
代表取締役社長 田中邦明

つくる情熱を、支える情熱。

CYBERNET

- ◆ 2008年3月期業績・財務の概況
- ◆ 新中期経営計画（Phoenix21）
- ◆ 2009年3月期の業績予想について
- ◆ 参考資料（2008年3月期の個別業績情報）



第23期（2008年3月期）
業績・財務の概況

つくる情熱を、支える情熱。

CYBERNET

[連結] 業績の概況

CYBERNET

(単位：百万円)

	07.3		08.3				
	実績	売上比	実績	売上比	前年比	計画	計画比
売上高	18,998	100.0%	20,942	100.0%	110.2%	21,500	97.4%
売上総利益	7,308	38.5%	8,473	40.5%	115.9%	8,430	100.5%
営業利益	2,540	13.4%	2,926	14.0%	115.2%	2,640	110.9%
経常利益	2,827	14.9%	3,085	14.7%	109.1%	2,720	113.5%
当期純利益	1,516	8.0%	1,810	8.6%	119.4%	1,732	104.6%

(1) 売上高

当期の売上高は計画に若干未達であったものの、自動車、電機、精密機器業界等を中心に概ね堅調に推移し、前年比で10.2%の増加となりました。

(2) 収益

①第1四半期に実施した本社移転に関わる一過性費用や事務所家賃等が増加しましたが、経費圧縮に努め、各利益ともに計画を達成し、かつ過去最高益となりました。

②資金運用および為替ヘッジにより、為替変動リスクへの対応をしました。

③特別損益

- ・ 投資有価証券売却益 140百万円
- ・ のれん償却 △ 138百万円 (中間期計上)
- ・ ソフトウェア臨時償却費 △ 144百万円

[連結] 技術サービス費用

CYBERNET

(単位：百万円)

	07.3	08.3	増減	前年比	売上比	内容
労 務 費	1,250	1,420	170	113.7%	6.8%	増員+22名（サイバネット+12名、KGT+8名、プラメディア+2名）
外注制作費	122	128	6	105.4%	0.6%	
通 信 費	24	23	△0	96.0%	0.1%	
旅 費 交 通 費	95	109	14	114.8%	0.5%	
備品消耗品費	26	16	△9	65.0%	0.1%	
地 代 家 賃	134	246	111	182.9%	1.2%	本社移転に伴う家賃増加
電算機等保守料	27	18	△8	69.0%	0.1%	
減価償却費	171	163	△7	95.4%	0.8%	自社開発ソフトウェア+9、IT系ソフトウェア△48
業 務 委 託 費	63	47	△15	75.2%	0.2%	
支 払 手 数 料	30	34	4	114.2%	0.2%	
そ の 他 の 経 費	30	20	△9	67.5%	0.1%	
合 計	1,976	2,231	255	112.9%	10.7%	

[連結] 販売費及び一般管理費

CYBERNET

(単位：百万円)

	07.3	08.3	増減	前年比	売上比	内容
人件費	2,338	2,543	205	108.8%	12.2%	増員+16名(サイバネット+15名、KGT+2名、プラメディア△1名)
通信費	181	180	△0	99.9%	0.9%	
旅費交通費	254	253	△1	99.6%	1.2%	
備品消耗品費	108	214	106	198.2%	1.0%	本社移転に伴う増加+105
募集採用費	95	79	△16	82.5%	0.4%	
教育研修費	52	46	△5	88.5%	0.2%	
地代家賃	273	609	335	222.8%	2.9%	本社移転に伴う家賃増加
電算機等保守料	36	58	22	161.6%	0.3%	
減価償却費	109	200	91	183.8%	1.0%	本社移転に伴う新規取得固定資産の償却分+58
のれん償却	110	91	△19	82.6%	0.4%	京浜アートワーク 47、KGT21、プラメディア23 (京浜アートワーク+4、プラメディア△23)
広告宣伝費	477	483	6	101.3%	2.3%	
業務委託費	314	326	11	103.6%	1.6%	
支払手数料	196	201	5	102.6%	1.0%	本社移転関連+6
その他の経費	219	258	38	117.4%	1.2%	
合計	4,767	5,546	778	116.3%	26.5%	

為替変動及び原価率差異について（個別）

CYBERNET

◆ 当期の為替(当期レート 114.92円/USD)

- 前年実績計上レート差異 $\Delta 1.98$ 円/USD (116.90円/USD \Rightarrow 114.92円/USD)
- 予算レートとの差異 $\Delta 3.08$ 円/USD (118.00円/USD \Rightarrow 114.92円/USD)
- 調達レート 115.52円/USD (予算レート差異2.48円/USD)

◆ 売上総利益の増減要因

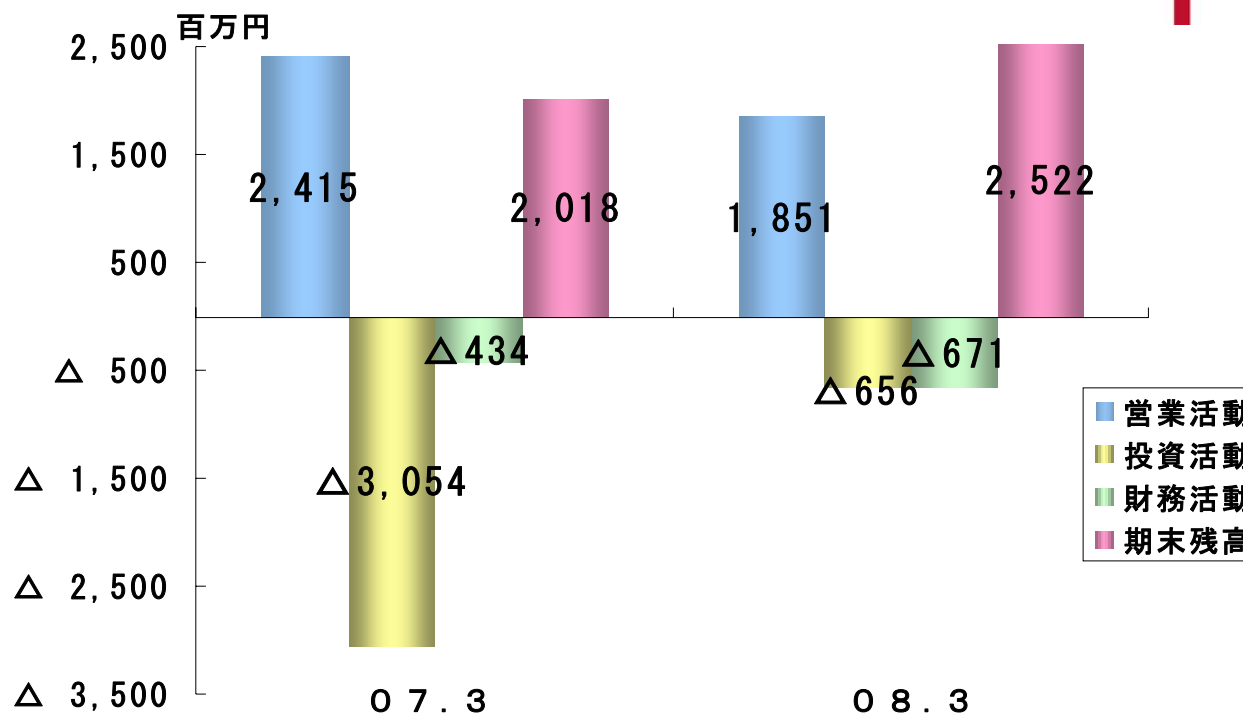
- 為替変動によるもの 107百万円
- 原価率増減によるもの + 118百万円
- 売上高増加によるもの + 989百万円
- 技術サービス原価増加によるもの Δ 124百万円 (社員数12名増加)
- 合計 +1,091百万円

◆ 当期の為替差損益

- 外貨預金評価損益 Δ 4百万円
- 買掛金評価損益 193百万円
- 決済時損益 6百万円
- 為替予約評価損益 Δ 162百万円
- 合計 32百万円

[連結] キャッシュ・フロー

CYBERNET



営業活動	
税金等調整前当期純利益	+ 2,935
減価償却費	+ 509
のれん償却額	+ 230
受取利息・配当金	△ 97
投資有価証券売却益	△ 140
売上債権の増減額	+ 60
たな卸資産の増減額	△ 83
仕入債務の増減額	△ 278
未払費用の増減額	△ 137
利息・配当金の受取額	+ 91
法人税等の支払額	△ 1,359

投資活動	
有形固定資産取得による支出	△ 479
無形固定資産取得による支出	△ 338
有価証券の取得・償還・解約による支出・収入	+ 2,718
投資有価証券取得による支出	△ 2,920
投資有価証券の売却による収入	+ 150

財務活動	
自己株式の取得による支出	△ 177
配当金の支払額	△ 505

現金及び現金同等物の増減額	+ 503
---------------	-------

四半期別の業績

CYBERNET

07.3

(単位：百万円)

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
売上高	4,918	(+11.8%)	4,389	(+5.2%)	3,797	(+17.4%)	5,891	(+5.4%)
売上高構成比	25.9%		23.1%		20.0%		31.0%	
営業利益	603	(△11.0%)	485	(+1.8%)	217	(—)	1,233	(+2.6%)
経常利益	633	(△10.8%)	624	(+23.8%)	281	(+989.0%)	1,287	(△1.5%)
税引等調整前四半期純利益	633	(△10.8%)	613	(+23.2%)	285	(+1,106.5%)	1,075	(△15.0%)

08.3

(単位：百万円)

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
売上高	5,650	(+14.9%)	4,582	(+4.4%)	4,410	(+16.1%)	6,299	(+6.9%)
売上高構成比	27.0%		21.9%		21.0%		30.1%	
営業利益	677	(+12.2%)	383	(△20.9%)	317	(+45.9%)	1,548	(+25.5%)
経常利益	679	(+7.3%)	510	(△18.3%)	339	(+20.5%)	1,556	(+20.9%)
税引等調整前四半期純利益	678	(+7.1%)	368	(△40.0%)	337	(+18.1%)	1,550	(+44.2%)

[連結] ソリューション別損益の概況

CYBERNET

07.3

(単位：百万円)

	CAEソリューションサービス			ITソリューションサービス			消去又は全社 実績	連結合計	
	実績	構成比	売上比	実績	構成比	売上比		実績	売上比
売上高	16,400	86.3%	100.0%	2,610	13.7%	100.0%	△11	18,998	100.0%
営業費用	12,325	—	75.2%	2,505	—	96.0%	1,627	16,457	86.6%
営業利益	4,074	—	24.8%	104	—	4.0%	△1,639	2,540	13.4%

08.3

(単位：百万円)

	CAEソリューションサービス			ITソリューションサービス			消去又は全社 実績	連結合計	
	実績	構成比	売上比	実績	構成比	売上比		実績	売上比
売上高	18,554	88.6%	100.0%	2,406	11.4%	100.0%	△18	20,942	100.0%
営業費用	13,732	—	74.0%	2,301	—	95.7%	1,981	18,015	86.0%
営業利益	4,822	—	26.0%	104	—	4.3%	△1,999	2,926	14.0%

CAEソリューション(対前年比 13.1%増加)

- (1) 制御系分野が、自動車、電機メーカーを中心に販売が好調でした。
- (2) フラットパネルディスプレイ市場向けの照明解析ソフトウェアの販売が好調でした。
- (3) 受託解析サービス収入は、原子力、自動車、半導体関連で需要が拡大しました。
- (4) 医用画像等可視化ソフトウェアも堅調に推移しました。

ITソリューション(対前年比 7.8%減少)

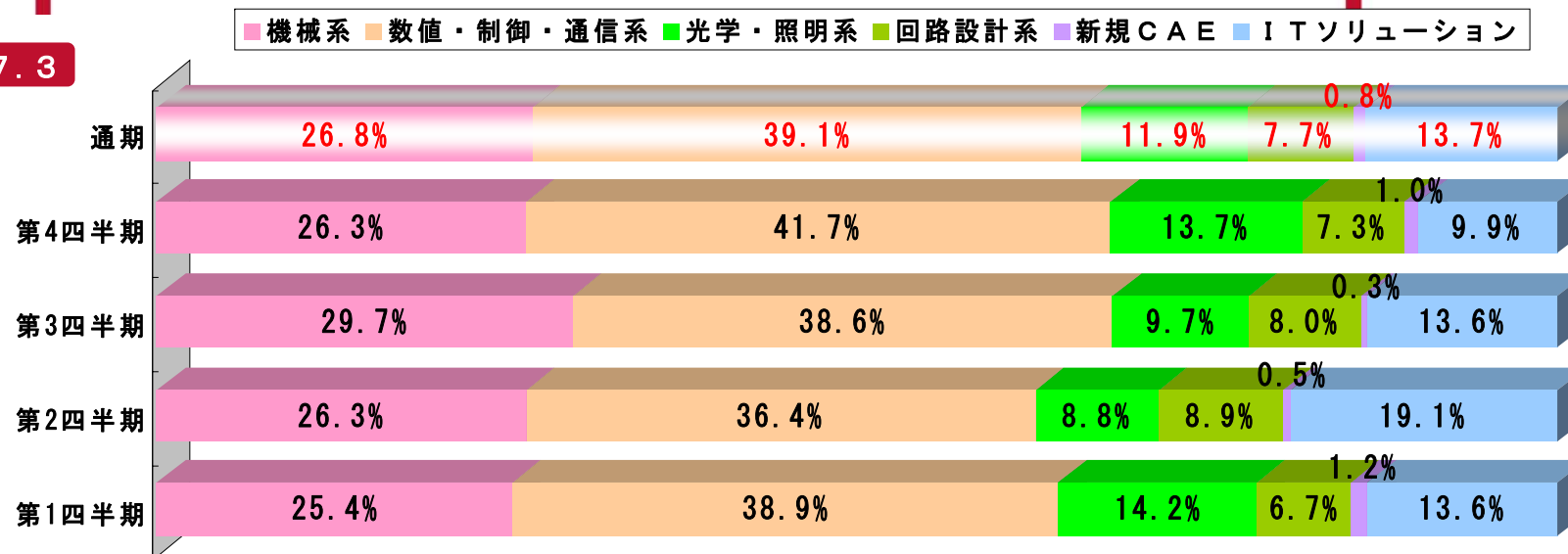
- (1) 売上減少の原因は、2006年9月にウィルス対策ソフトウェアにおける大口の二次代理店が一次代理店になったことによるものです。
- (2) 業務パフォーマンス改善ソフトウェアが一般ビジネス分野へ導入と共に、簡易機能版が好調でした。
- (3) SaaS (ASP) 形態のセキュリティサービスが順調に推移しました。
- (4) 内部統制リスク管理システムの販売が第3四半期に踊り場に入ったものの、堅調に推移しました。

11

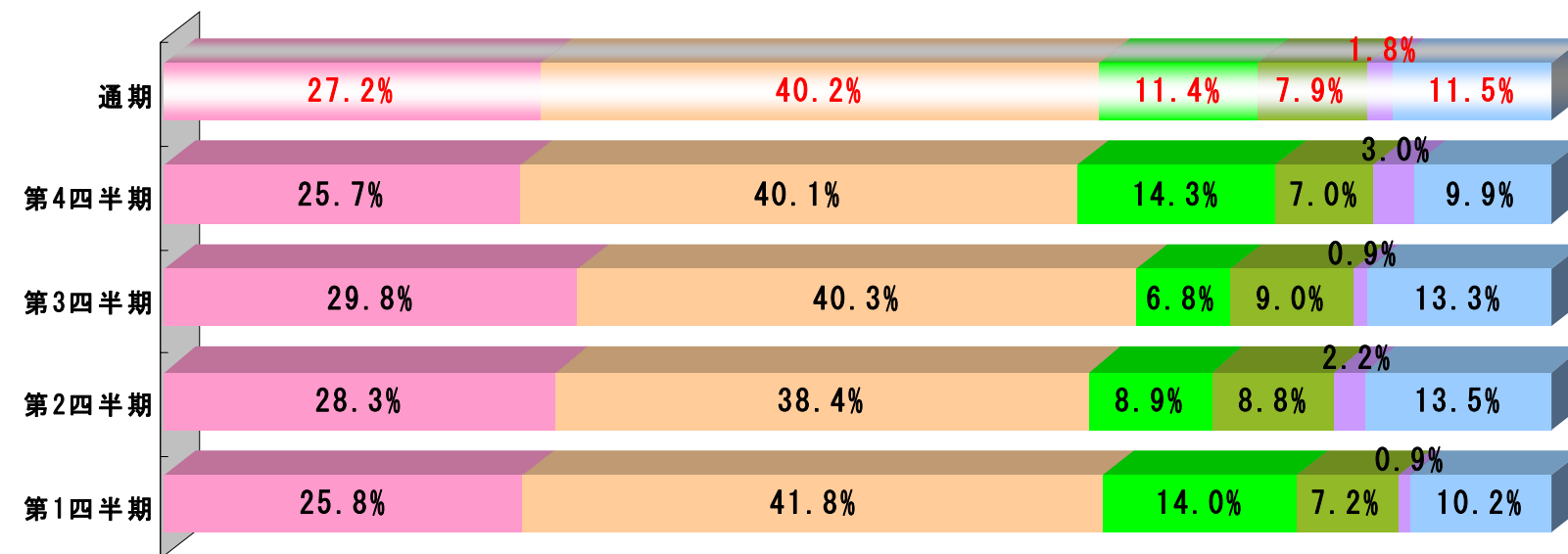
[連結] 応用分野別売上高シェア

CYBERNET

07.3



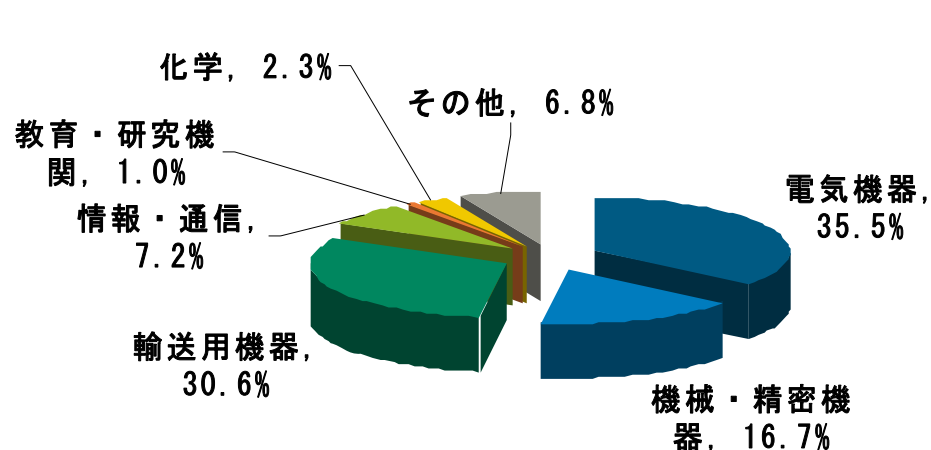
08.3



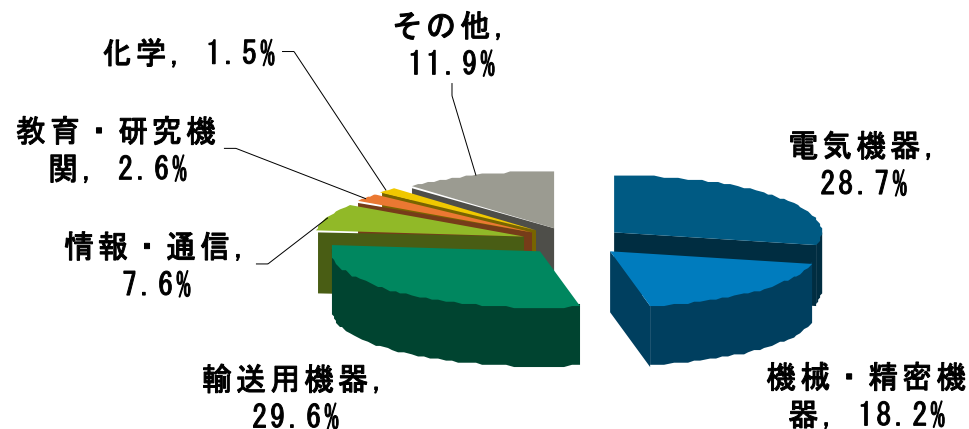
[連結] 業種別売上高シェア (上位50社)

CYBERNET

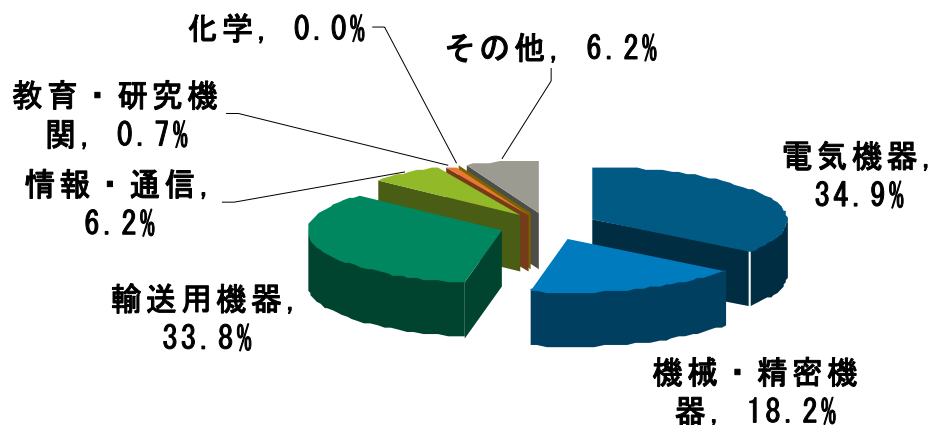
07.3 第3四半期



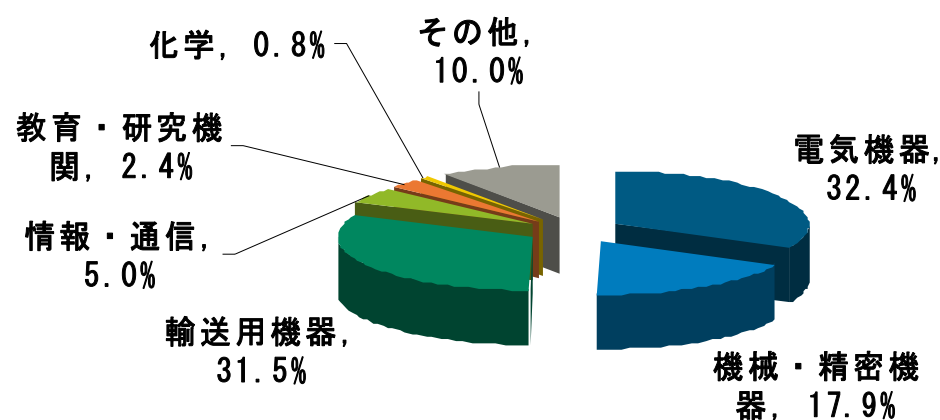
07.3



08.3 第3四半期



08.3

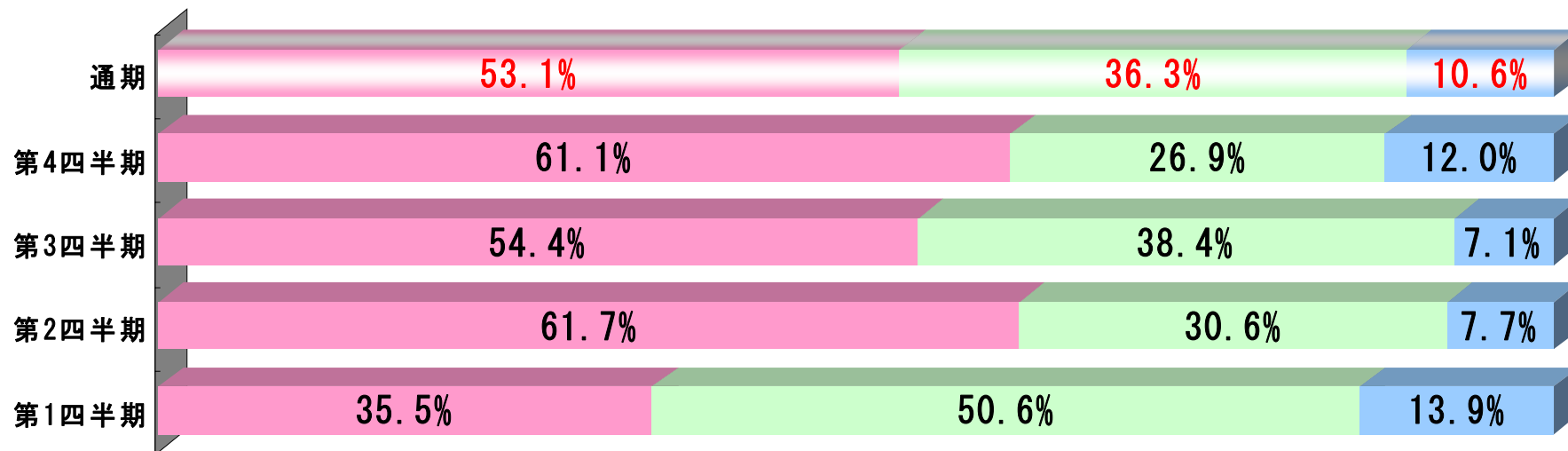


[連結] ライセンス契約別売上高シェア

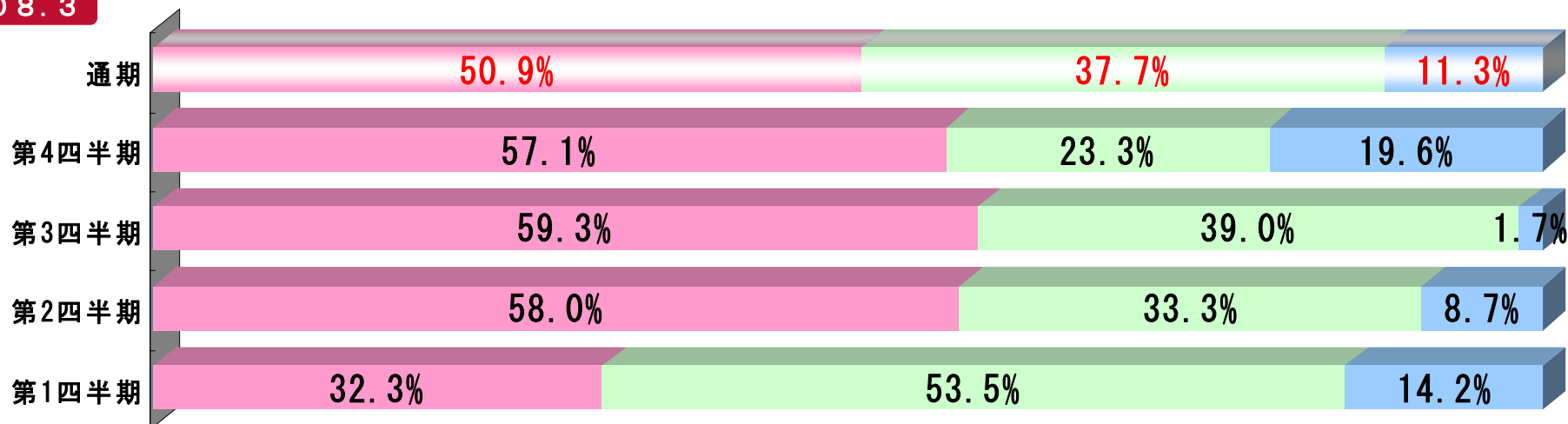
CYBERNET

07.3

■ 一括ライセンス契約 ■ 保守／更新契約 ■ レンタル契約



08.3



連結各社の決算業績（2008年3月期）

CYBERNET

単位：百万円

	売上高	前年比	営業利益	前年比	経常利益	前年比	当期純利益	前年比
サイバネット	18,652	112.3%	2,890	113.7%	3,025	108.0%	1,619	108.5%
計画比		98.2%		108.7%		112.1%		111.5%
ケイ・ジー・ティー	2,172	96.6%	86	105.6%	110	88.4%	105	86.9%
計画比		92.8%		134.4%		110.0%		109.4%
プラメディア	250	121.8%	2	—	2	—	2	—
計画比		—		—		—		—

※プラメディアは12月期決算

(株)ケイ・ジー・ティー

- ①可視化分野は、医用画像ソフトウェアの販売を中心に好調に推移しました。
- ②内部統制リスク管理システムが上期の好調な業績を受け収益に貢献しました。
- ③営業利益、経常利益、当期純利益共に、計画値を達成しました。
- ④経常利益の前年比減少は、国のプロジェクト支援業務の減少によるものです。
※売上高の減少は、10枚目のシートを参照願います。

(株)プラメディア

- ①自動車関連を中心としたプラスチック解析の需要拡大に備え、自社開発ソフトウェアの大幅な機能アップを目的とし、3ヵ年計画で開発に着手しました。
- ②サイバネットとの連携が軌道にのり、受注、引き合いが増加し、売上高は前年比で22.0%増の250百万円となり、経費圧縮により黒字に転換しました。

期末配当金予想の修正（増額）

CYBERNET

単位：円

	2007.3	2008.3		
	年間配当額	中間配当額 (実績)	期末配当額 (予定)	年間配当額 (予定)
1株当たり配当額	1,600	700	1,100	1,800
1株当たり当期純利益	4,786.75	2,040.63	—	5,723.45
配当性向	33.4%	34.3%	—	31.4%

※期末配当金につきましては、当事業年度計算書類の法定監査を経た後に、2008年5月13日開催の取締役会にて決議します。

- (1) 期末配当金は当社基本方針に基づき、当初予定の1株当たり900円から200円増額し、1株当たり1,100円とします。
- (2) 期末配当金の支払開始日（効力発生日）は、2008年6月4日（水）です。

新中期経営計画

*Phoenix*21
(フェニックス21)

つくる情熱を、支える情熱。

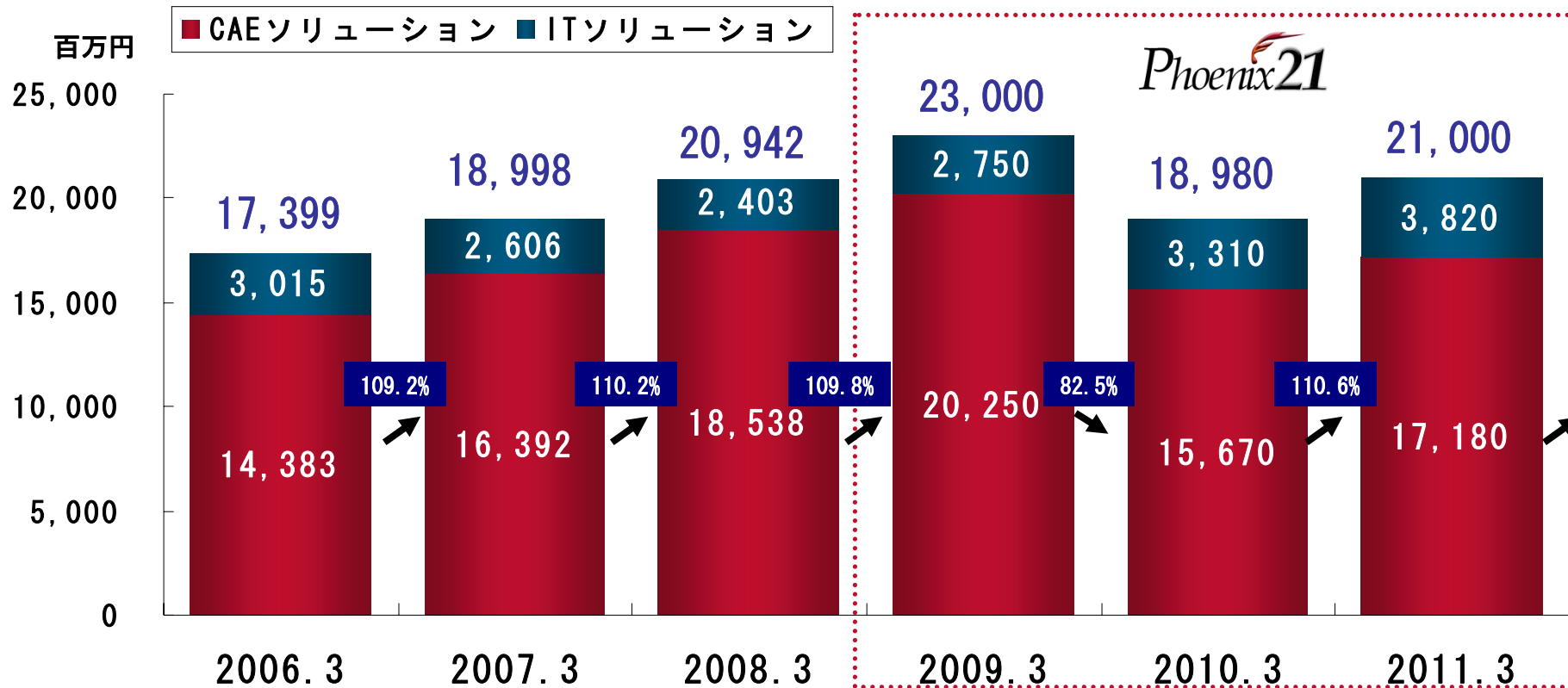
CYBERNET

The MathWorks 社との販売代理店契約が2009年6月30日をもって終了することに伴う影響（売上高が占める割合37%）

ものづくり支援における ディストリビュータビジネスの成長とソリューションビジネスへの変革

- ◆ 主力プロダクトの更なる成長と継続のための投資
- ◆ サービス事業の展開をスピードアップ
 - 機械分野、電子回路設計分野、制御・通信分野、可視化分野、樹脂流動分野などを中心とした受託解析・受託開発ならびにコンサルティング事業
- ◆ 自社製品開発体制の強化
 - グループ会社とのアライアンス強化、海外展開
- ◆ 海外事業展開のスピードアップ
 - 中国をはじめ、アジア市場（台湾、韓国）へのビジネス展開
- ◆ 業務の効率化
 - 収益力改善
- ◆ コンプライアンス経営の継続

2011年3月期に2008年3月期の連結売上高水準回復へ

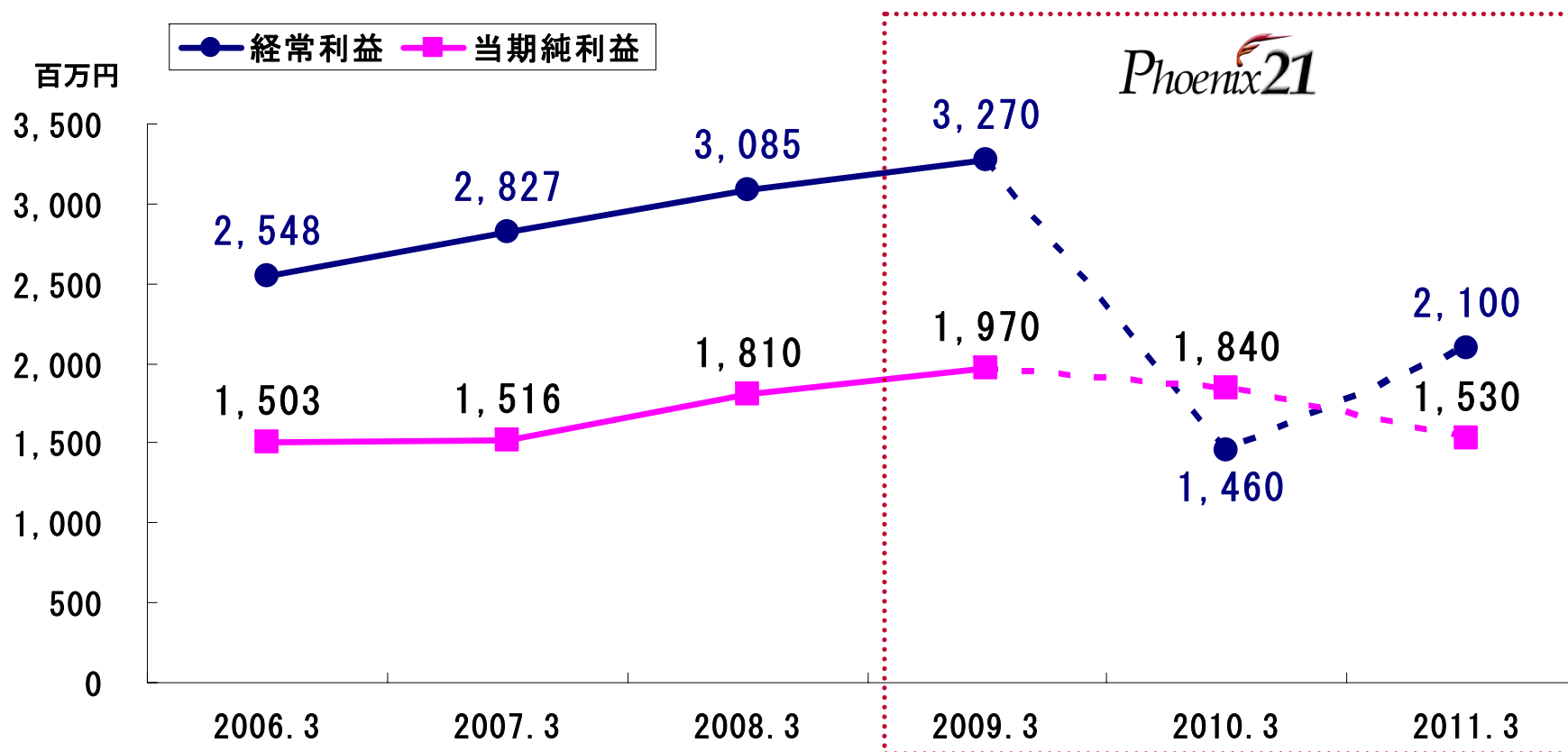


当中期事業計画には、M&Aの計画値を反映しておりません

新中期事業計画 (Phoenix21) 収益推移

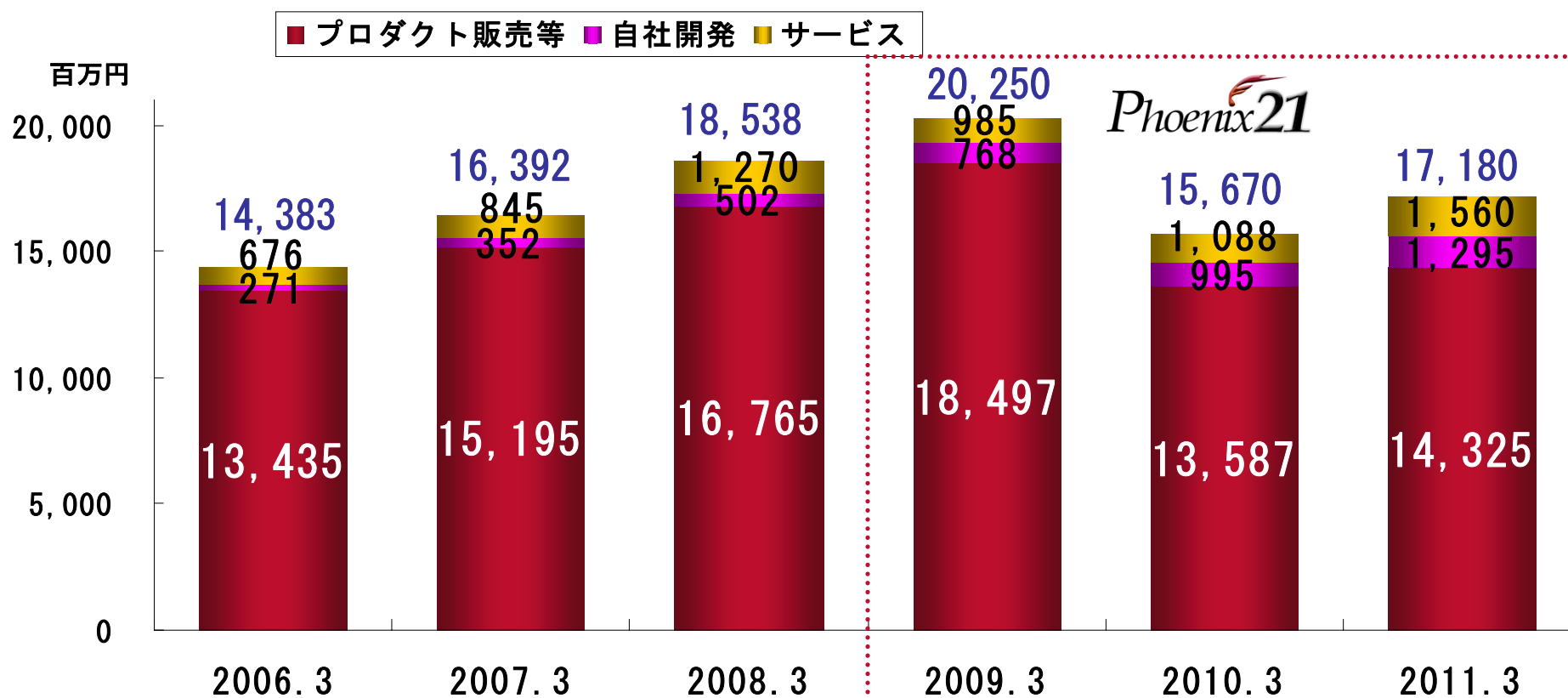
CYBERNET

2011年3月期に売上高経常利益率10% (21億円) へ



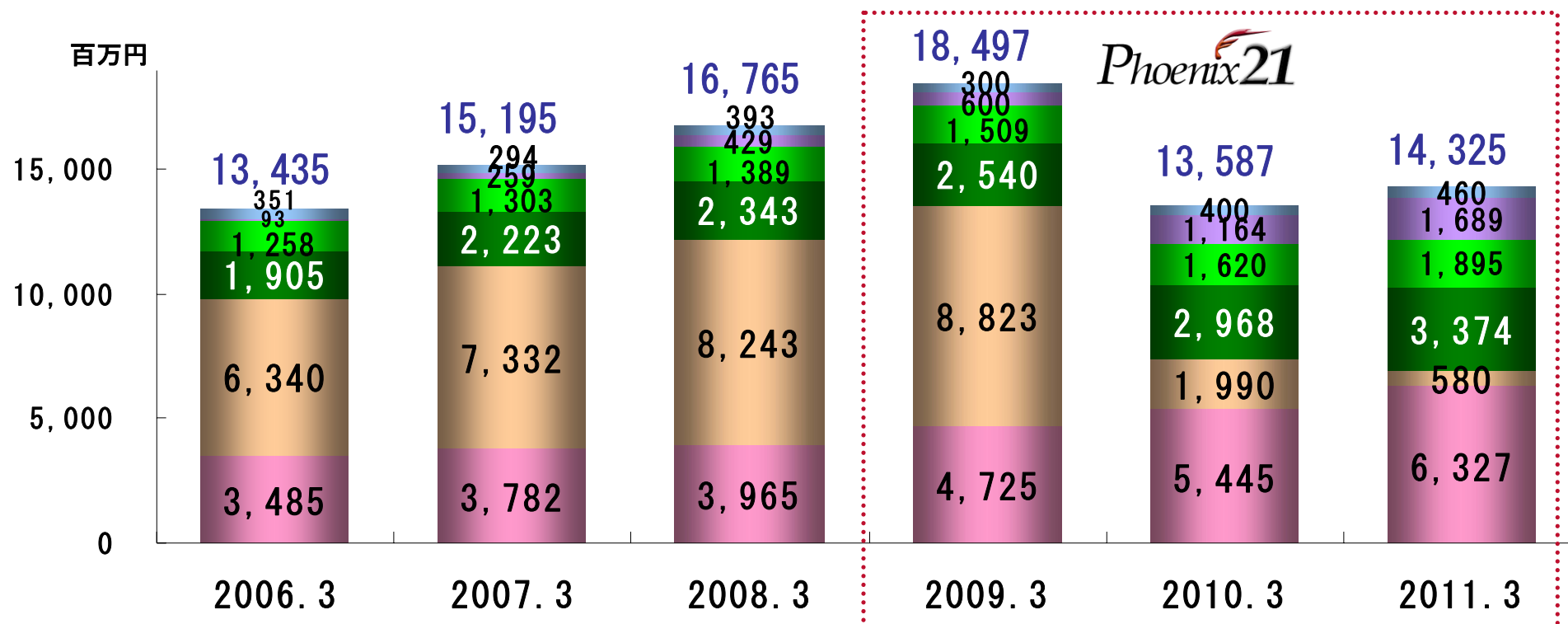
当中期事業計画には、M&Aの計画値を反映しておりません

自社開発製品販売、サービスビジネスの拡大



既存プロダクトの更なる成長と新規分野の拡大

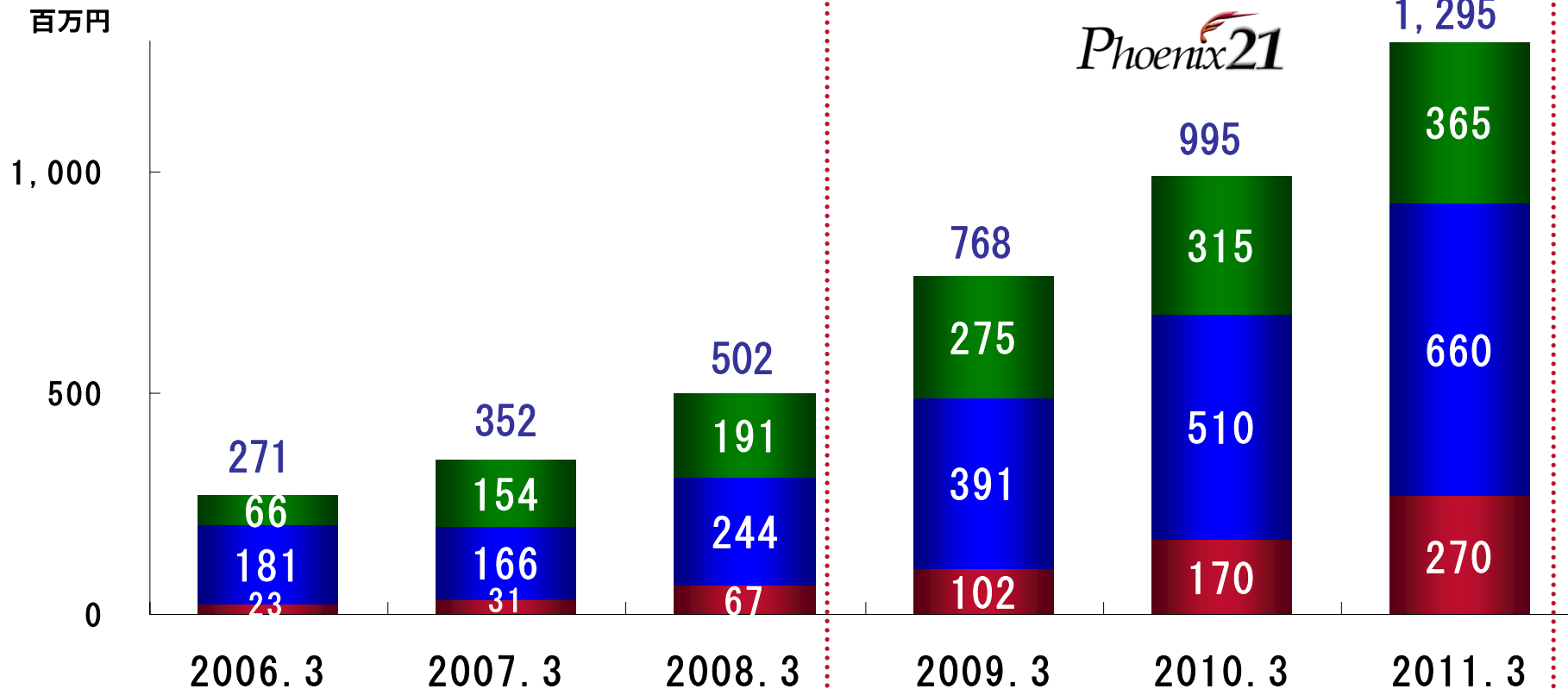
■ 機械系 ■ 数値・制御・通信系 ■ 光学・照明系 ■ 回路設計系 ■ 新分野系 ■ 可視化系



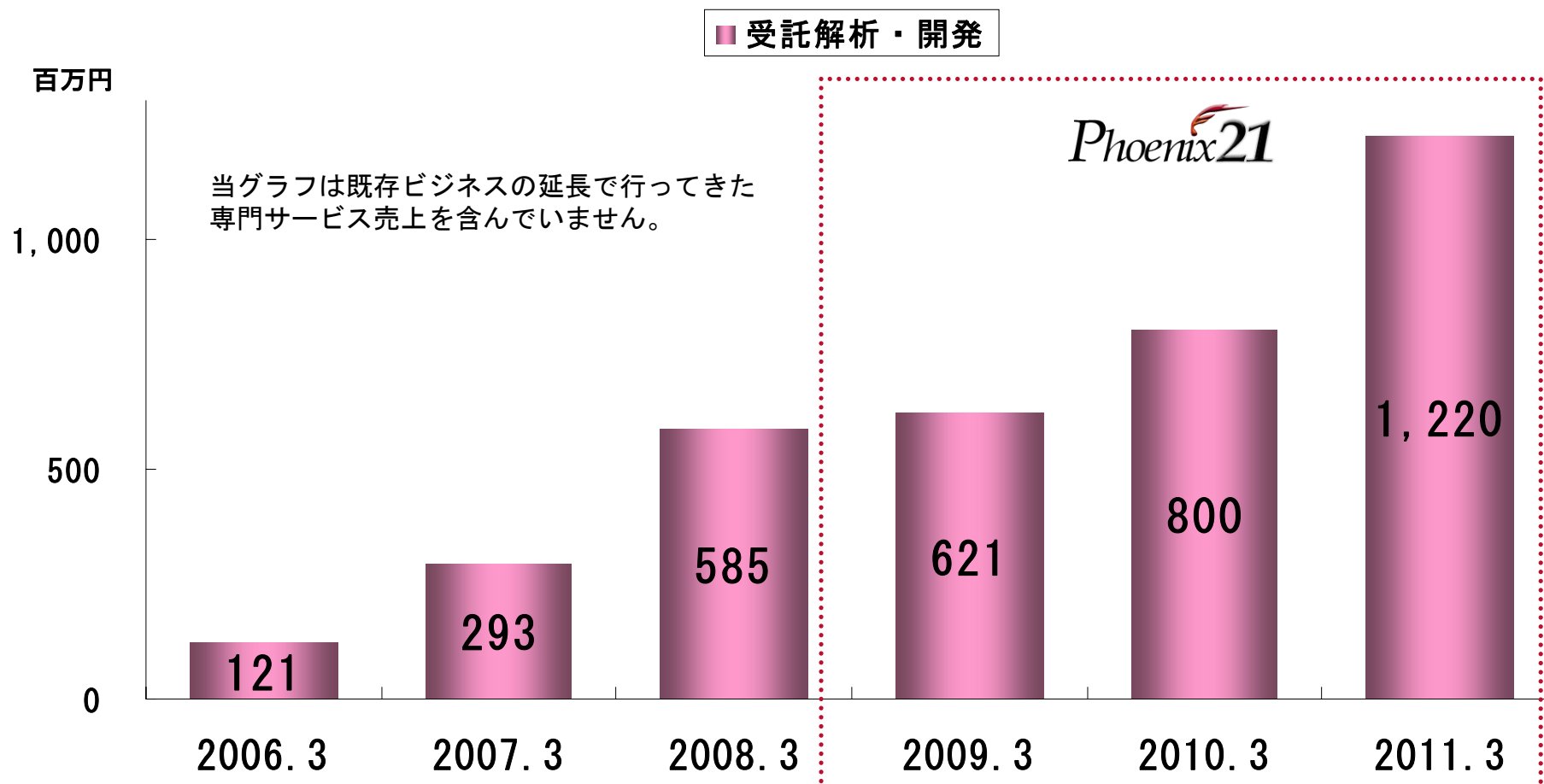
- (1) 既存主力プロダクト群によるマルチプロダクトソリューションの促進による拡販を推進。
- (2) 第4、第5の主力プロダクトの発掘と立ち上げを推進。
- (3) MATLABの顧客ベースを活かしたMATLABパートナープロダクトの早期立ち上げを推進。

自社開発製品の販売拡大

■ サイバネット ■ ケイ・ジー・ティール ■ プラメディア

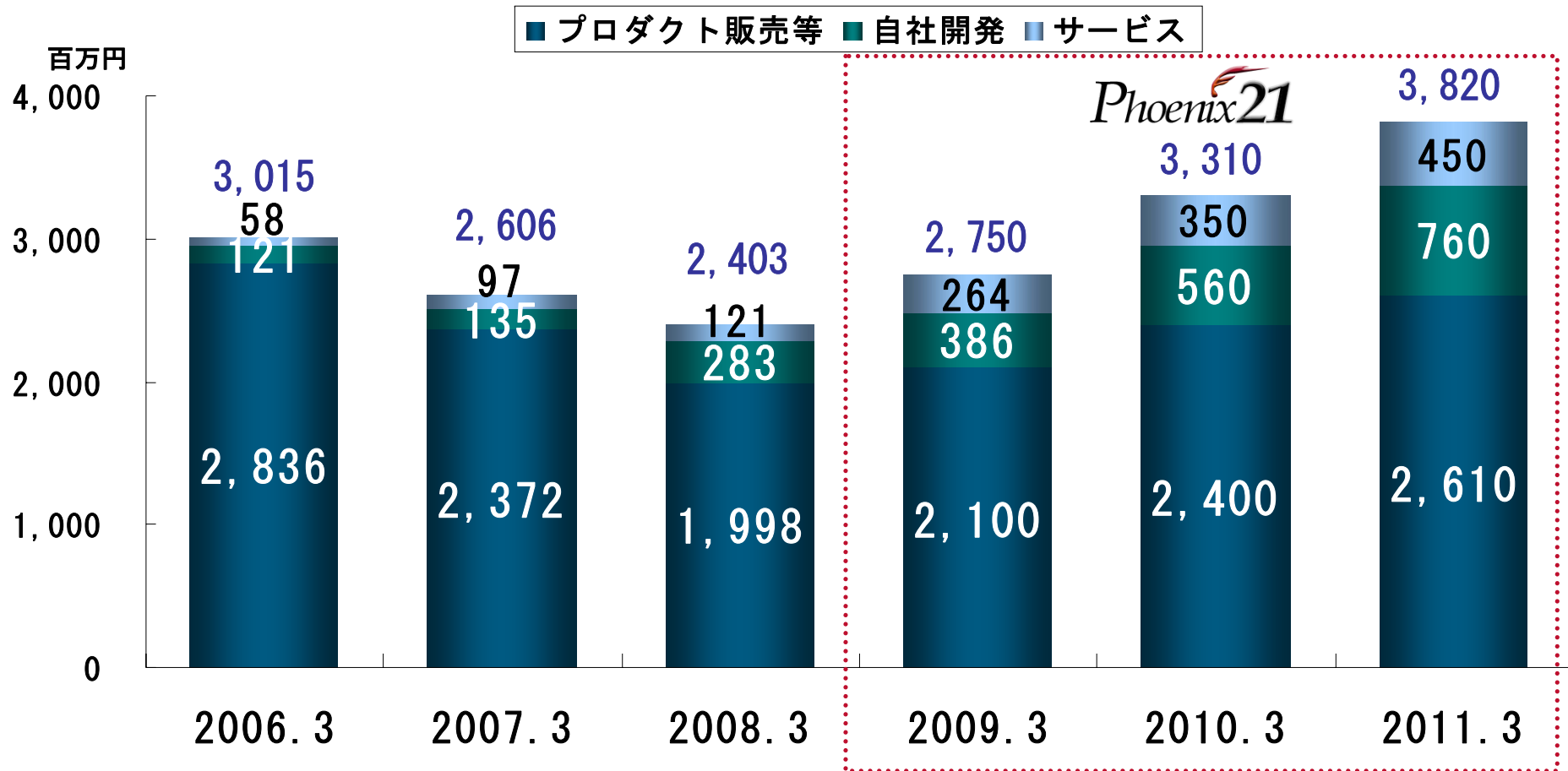


受託解析・受託開発ならびにコンサルティングの拡大

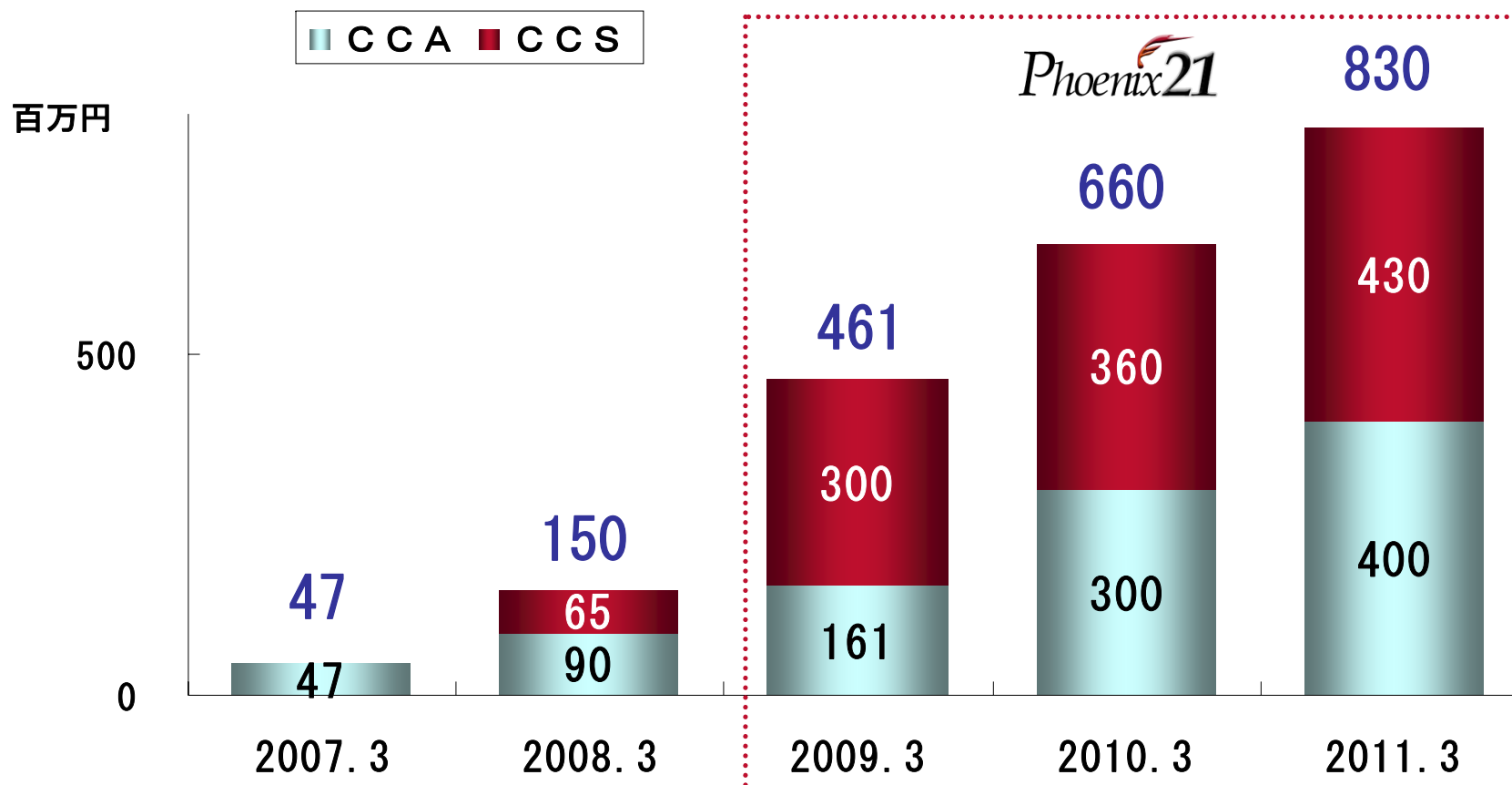


2009年3月期は、今後益々需要の拡大が見込める受託解析ビジネスの体制を整備

グループのアライアンスによる販路の拡大



事業規模拡大に伴い連結対象として検討





2009年3月期の業績予想について

つくる情熱を、支える情熱。

CYBERNET

2009年3月期の業績予想

CYBERNET

[連 結]

(単位：百万円)

	08.3	09.3E	売上比	前年比
売上高	20,942	23,000	100.0%	109.8%
売上総利益	8,473	9,290	40.4%	109.6%
営業利益	2,926	3,160	13.7%	108.0%
経常利益	3,085	3,270	14.2%	106.0%
当期純利益	1,810	1,970	8.6%	108.8%

[個 別]

(単位：百万円)

	08.3	09.3E	売上比	前年比
売上高	18,652	20,200	100.0%	108.3%
売上総利益	7,647	8,280	41.0%	108.3%
営業利益	2,890	3,000	14.9%	103.8%
経常利益	3,025	3,100	15.3%	102.5%
当期純利益	1,619	1,810	9.0%	111.8%

業績予想について

- (1) 2009年3月期の業績予想における原価算入為替レートは110.0円/ドルです。
- (2) 2009年3月期の為替ヘッジ状況：平均約105円/ドル、想定送金額の約70%相当

2009年3月期の配当金予想

CYBERNET

単位：円

	2008. 3	2009. 3		
	年間配当額 (予定)	中間配当額 (予想)	期末配当額 (予想)	年間配当額 (予想)
1株当たり配当額	1,800	900	1,000	1,900
1株当たり当期純利益	5,723.45	2,610.53	—	6,226.09
配当性向	31.4%	34.5%	—	30.5%

※2009年3月期の配当金予想は、当社基本方針に基づき、年間で100円増額した1株当たり1,900円を予想しております。
なお、中間配当と期末配当のバランスを考慮し、上表のとおりとしております。



参考資料(2008年3月期の個別業績情報)

つくる情熱を、支える情熱。

CYBERNET

- ◆ 名 称 : サイバネットシステム株式会社 (東証第一部 4312)
Cybernet Systems Co., Ltd.
- ◆ 本 社 : 東京都千代田区神田練塀町3
- ◆ 支 社 : 西日本支社 (大阪)、中部支社 (名古屋)
- ◆ 設 立 : 1985年4月17日
- ◆ 資 本 金 : 995百万円
- ◆ 社 員 数 : 2008年4月1日現在
連結 457名
個別 367名
- ◆ 事業内容 : CAEソリューション及びITソリューションの提供、各種
コンサルティングの提供
- ◆ 子 会 社 : 連結 (株)ケイ・ジー・ティー
(株)プラメディア
非連結 西希安工程模擬軟件 (上海) 有限公司 (略称: CCA)
莎益博設計系統商貿 (上海) 有限公司 (略称: CCS)

CAEとは

Computer Aided Engineeringの略で、コンピュータによる工学支援のことをいい、コンピュータ上で仮想設計し、仮想実験すること。

〔個別〕業績の概況

CYBERNET

(単位：百万円)

	07.3		08.3				
	実績	売上比	実績	売上比	前年比	計画	計画比
売上高	16,604	100.0%	18,652	100.0%	112.3%	19,000	98.2%
売上総利益	6,555	39.5%	7,647	41.0%	116.7%	7,570	101.0%
営業利益	2,543	15.3%	2,890	15.5%	113.7%	2,660	108.7%
経常利益	2,802	16.9%	3,025	16.2%	108.0%	2,700	112.1%
当期純利益	1,493	9.0%	1,619	8.7%	108.5%	1,453	111.5%

(1) 売上高

当期の売上高は計画に若干未達であったものの、自動車、電機、精密機器業界等を中心に概ね堅調に推移し、前年比で12.3%の増加となりました。

(2) 収益

①第1四半期に実施した本社移転に関わる一過性費用や事務所家賃等が増加しましたが、経費圧縮に努め、各利益で計画を達成し、かつ過去最高益をあげることができました。

②資金運用および為替差益により、為替変動リスクへの対応しました。

③特別損益

- ・ 投資有価証券売却益 140百万円
- ・ 関係会社株式評価損 △ 272百万円 (中間期計上)
- ・ ソフトウェア臨時償却費 △ 144百万円

[個別] 技術サービス費用

CYBERNET

(単位：百万円)

	07.3	08.3	増減	前年比	売上比	内容
労務費	944	1,037	93	109.9%	5.6%	増員+12名
外注制作費	51	32	△18	64.2%	0.2%	
通信費	23	20	△2	88.9%	0.1%	
旅費交通費	74	84	10	114.0%	0.5%	
備品消耗品費	17	12	△4	72.6%	0.1%	
地代家賃	101	205	104	203.6%	1.1%	本社移転に伴う家賃増加
電算機等保守料	25	17	△8	68.7%	0.1%	
減価償却費	118	80	△37	68.0%	0.4%	自社開発ソフトウェア+9、IT系ソフトウェア△48
業務委託費	66	61	△4	92.6%	0.3%	
支払手数料	24	27	3	114.8%	0.2%	
その他の経費	22	10	△11	47.7%	0.1%	
合計	1,469	1,593	124	108.4%	8.5%	

〔個別〕販売費及び一般管理費

CYBERNET

(単位：百万円)

	07.3	08.3	増減	前年比	売上比	内容
人件費	1,959	2,114	154	107.9%	11.3%	増員+15名
通信費	165	165	△0	99.5%	0.9%	
旅費交通費	218	217	△0	99.6%	1.2%	
備品消耗品費	91	200	109	219.1%	1.1%	本社移転に伴う増加
募集採用費	87	74	△13	84.6%	0.4%	
教育研修費	47	41	△5	87.8%	0.2%	
地代家賃	230	567	337	246.6%	3.0%	本社移転に伴う家賃増加
電算機等保守料	36	53	17	148.3%	0.3%	
減価償却費	103	195	92	188.6%	1.1%	本社移転に伴う新規取得固定資産の償却分
のれん償却	43	47	3	109.1%	0.3%	
広告宣伝費	443	436	△6	98.4%	2.3%	
業務委託費	264	298	34	113.0%	1.6%	
支払手数料	186	191	5	103.1%	1.0%	本社移転関連+21
その他の経費	134	152	17	112.9%	0.8%	
合計	4,012	4,757	744	118.5%	25.5%	

■ 広報・IR室

住 所	〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3	富士ソフトビル
電 話	03-5297-3066	
F A X	03-5297-3609	
Eメール	irquery@cybernet.co.jp	
ホームページ	http://www.cybernet.co.jp	

本資料は、投資家の投資の参考となる情報のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

本資料は、当社業務によって得られた各種データに基づいて作成したものです。その安全性を保証するものではありません。また、資料に記載された意見や予測は、資料作成時の当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についてもなんら保証するものではありません。

記載された内容が予告なしで変更することもありますのでご注意ください。
投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされるようお願い致します。